

GELCHOPの



レッツD.I.Y.

月イチでD.I.Y.なものづくり。

汚れなき純白の ハンティングチェア。

Product_name

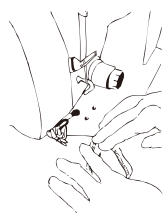
Briefs Hunting Chair

Material

- ・ハンティングチェア 1脚
- ・「グンゼ」ブリーフ
ジュニア140~150サイズ 5枚(目安)
- ・ハトメ 適量

How to make

- 1 今回は、カットの手間いらず、そのままのカタチで利用できる「グンゼ」のブリーフを使用する。ハンティングチェアのレザーシートを固定する3本のビスを外し、ブリーフを当て穴位置をマーキングしよう。パンツはジュニア140~150サイズが適応サイズ。
- 2 実験の結果、5枚ほど重ねると座る強度が得られるはず。まずは、1枚ずつ穴位置付近をミシンの叩き縫いで補強する。厚手のナイロン地などを一緒に縫い込むとさらに強度が上がる。
- 3 マーキングした穴位置にハトメサイズのポンチで穴を開ける。開けたままだとほつれやすいので、穴周囲をさらに手縫いでボタンホールのように縫い、強度を上げ、ハトメを付け、かしめる。
- 4 木部とのすれ止めにフェルトを挟む。ビス留め部分の木断面よりやや大きめにフェルトを切り抜き設置部に置く。ハトメ穴にビスを通し、パンツを重ね椅子に固定する。
- 5 枚数を重ねたら、積層されたパンツをさらに縫い合わせ、さらに強度をアップ。ゆっくり腰掛け、強度に不安があれば、さらなる強度を得るために考え実践。そしてあなただけの汚れなきイスが出来上がる。ぜひとも全裸で腰掛けていただきたい。



2. 柔道着みたいになるまで叩き縫いを。



5. 座るためには強度と度胸が肝心。

ブリーフハンティングチェア 実に優等生でシンプルな軽量のハンティングチェア。レザーの座面がブリーフに見えてしまったのだから仕方がない。近所のスーパーに走り大人用3サイズ、ジュニアも120から150まで揃え、「お客さん、サイズがバラバラですが大丈夫ですか?」「えっ、まあ、色々試してみたくって……」って誤解を生みそうな返事で変な汗まで流しベストサイズを探り当て、同じ尻が接点でもはくと座るでは大違いであることをいくつかの尻餅で味わい、ようやく強いパンツが生まれたことは、お伝えしておかなくてはなるまい。はいて座る、そのまま移動もできる“座れるパンツ”も構想中。

はみだしのDIY

今回はお尻にまつわる話。インドへ旅行に行った方なら体験したであろう、紙を使わないトイレの様式。紙が存在しない時代、用を足した際には近くにあるもので始末をしていたのは当然のことだが、葉っぱを利用しようと考えた人はよりお尻にやさしく快適な葉っぱを求め進化を続け、現在ウォッシュレット&尻乾燥にたどりついた。一方、水でパパッと流すことを選んだインド人は、特にトイレの改良に努力を重ねることなく今日に至るわけだ。長い年月、研究を重ねた割には結果は同じか? いや、お尻のことを必死に考え、経済にする食欲さに終わりなどない。温かい便座の素晴らしい着陸は、パーソナルなお尻の要求に対応し、太もも便座、自動パンツ下ろし、尻舐め洗浄機……どこまでも。

ゲルチョコップ | D.I.Y.造形グループ。モリカワリョウタ、オザワテツヤ、タカハシリョウヘイがメンバー。[[BEA MS JAPAN] の4階「CULTUART」に「レッツD.I.Y.」で制作した作品を展示していただけることになりました!

